執筆者紹介（掲載順）

執筆者　①職位（所属）、②専門分野、③主な担当科目、
④教育・研究業績、地域貢献などの紹介

David Williams　①准教授（観光学部）
②観光学
③観光概論、Risk Management、TOEIC 800
④ Korea TESOL、全国語学教育学会、北東アジア言語教育学会。論文「A framework for understanding Japanese educational sojourner's motivations」（『横浜市立大学論叢』、59 巻 3 号、2008 年）

岩本　英和　①助教（観光学部）
②観光学
③ Introduction to Tourism、エコツーリズム、ユニバーサルツーリズムなど
④日本観光研究学会。論文「Tourism Policy Analysis on an Eco-tour Guide Certification System at a UNESCO World Heritage Site: The Shirakami Mountain Range in Japan」（『Journal of Tourism Economics, Policy and Hospitality Management』第 1 号、2014 年）など。

内山　達也　①准教授（観光学部）
②考古学
③キャリア形成、観光プロジェクト、観光ゼミナール
④文化人類学会。論文「アイヌの〈太陽〉に関する信仰について」（『物質文化研究』、5 号、2008 年）

中田健太郎　①学芸員（化石ギャラリー）
②古生物学
④日本地質学会、日本古生物学会。論文「International correlation of the Pliensbachian/Toarcian (Lower Jurassic) ammonoid biostratigraphy of the Nishinakayama Formation in the Toyora Group, southwest Japan」（『Newsletters on Stratigraphy』第 44 号、2011 年）など。

髙橋　謙輔　①国際学術文化振興センター（学校法人城西大学）
②日本文化論、工芸論、陶芸
④民族藝術学会、米国陶芸教育学会（NCECA）。研究ノート「日本のおもてなしと西洋のホスピタリティの見解に関する一考察」（『城西国際大学紀要』第 23 巻、第 6 号、2015）

髙橋誠司郎　①院生（ケース・ウェスタン・リザーブ大学大学院）
②医療人類学、メディカルツーリズム

梅原　一剛　①客員教授（観光学部）
②国際企業経営
③ Hospitality Management
④ IHRA（International Hotel and Restaurant Association）の Vice President としての教育活動

石谷　昌司　①准教授（観光学部）
②英語教授法（M.Ed. in TESOL）
③英語・日本語教育、インターンシップ、キャリア形成演習 III、海外研修（台湾）、観光ゼミナール I/II（ホスピタリティマネジメント）
④道の駅との産学連携プロジェクトを通したホスピタリティ教育。
研究ノート「ホスピタリティ教育の実践 ～ JOSAI 安房ラーニングセンターの活用～」（『城西国際大学紀要』第 22 巻、第 6 号、2014）。
WEB 観光政策フォーラム（2015 / 5 / 8 掲載原稿）「外国人観光客へ英語で応対する際のポイントとは？～ホスピタリティ産業での英語の重要性～」など。